

科目名	一般教養B1							年度	2025
英語科目名								学期	前期
学科・学年	放送芸術科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	山田素子		教員の実務経験	あり	実務経験の職種		番組制作		
【科目の目的】 この科目を受講する学生は、映像制作の基礎を学ぶ事で番組制作を作り手としての視点から見る事が出来るようになる。また、映像を出来るだけ理論的に捉え、自分自身の興味や適性を見出し、将来のビジョンを明確にすることを目的としている。特に放送された番組映像を用いながら番組作りを見ていく事で現場で必要となる基礎的な知識を身につける事が出来る。さらに目指す職業の仕事内容にも触れていき、放送業界を取り巻く昨今の事情など、新しい情報を習得する事で就活に繋げていく。									
【科目の概要】 この授業では、個人ワークやグループワークを採り入れる。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。授業で取り上げた映像を見ながら企画意図や演出、カメラワークなどを学び、自分だったらどうするか？など自分に置き換えて学びを進める。また、プレゼンテーションを多く用い、自分の言葉で語り構築できるようになることを目指す。									
【到達目標】 この授業は、番組制作の基礎を「制作現場の目線」から学ぶことを目標としている。資料映像として、実際にOAされた映像を見つつ、番組制作の意図、流れ、演出などを習得していく。さらに現場の情報を得る事で将来のビジョンを明確にし、就活に活かせるような授業を目指す。常に映像の制作側の視点に立ち、番組を理論的に見る事が出来るよう、学んでいく。									
【授業の注意点】 この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。但し授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、主体的に授業に参加する事を徹底し、プレゼンなどの発表の際は積極的な態度で受講する事を求める。(詳しくは、最初の授業で説明)。さらに授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている			レベル3 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A 知識力	専門用語が入った文章も問題なく読め、自分自身で用語を使いこなせる			聞く分にはある程度専門用語を理解出来る				聞き返さないと専門用語を理解出来ない	
到達目標 B 映像の理解	映像制作の過程を理解しており、映像を観て良いポイントを判断できる			ざっくりと映像を理解し、ある程度の良し悪しはわかる				映像の良し悪しの判断がつかない	
到達目標 C ビジネス構造	ビジネスとして成立させつつその中で最大限良い映像を追及できる			ビジネスと映像の質のバランスを取ろうとする意識はある				ビジネスとして成立しない	
【教科書】									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
期末試験・課題 50% 提出物/レポート/成果発表(プレゼン)/平常点 50%									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									
科目名	一般教養B1							年度	2025

英語表記					学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	業界職業マップ				業界の仕事内容や将来のビジョンを考える		
2	番組の流れ				TV番組制作の流れを理解する		
3	放送用語（1）				現場で使われている放送用語を理解する		
4	映像ジャンル				番組のジャンルに関する理解と知識		
5	放送用語（2）				現場で使われている放送用語を理解する		
6	番組制作構造				局、制作会社、ポストプロダクション、 美術等の役割について理解する		
7	放送用語（3）				現場で使われている放送用語を理解する		
8	視聴率と予算				視聴率と制作予算について理解する		
9	TVの歴史について				TV創世記～現代の番組の演出について		
10	放送用語（4）				現場で使われている放送用語を理解する		
11	CM基礎（1）				CMの企画意図、演出について理解する		
12	CM基礎（2）				代表的なCMや海外の作品について演出意図 を考える		
13	映像問題提起				放送禁止、放送自粛など放送倫理につい て理解を深める		
14	作品作り基礎				短尺の作品絵コンテ～プレゼンを行う		
15	前期まとめ				放送用語、番組基礎、CM等 全体のまとめ		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

